

自治活動組織 加入促進指針とマニュアル

平成 31 年 3 月

飯田市・飯田市まちづくり委員会連絡会議



目 次

あなたにとって必要な自治活動組織を考えてみましょう

自治組織とは

活動内容は

自治活動組織の良さは

自治活動組織への加入を呼びかけましょう

脱退しない、させない活動組織に

市役所も支援しています

よく こんなが質問をいただきます



自治活動組織とは

まちづくり委員会や地域自治会を筆頭に、町内会、自治会、常会、班、組合、隣組といった地域の活動組織の総称として「自治活動組織」と呼びます。

住んでいる地域を、これまで大切に守り育て、地域の価値を高めてきた自治活動組織は、互いに協力しながら、個人の個性や意欲を発揮できる場でもあります。

- 人とのつながり、お互い様の気持ちを大切に活動しています。
- 地域の環境美化、防犯・防災などの活動を行っています。
- 地域の様々な問題の解決にみんなで協力して取り組んでいます。
- これまで培ってきた地域の伝統や財産を次世代へ繋ぎます。

活動内容は

自治会では「お互いさま」の気持ちを基本に、誰もが暮らしやすい地域となるように活動しています。

日ごろの活動を通して築かれる地域の人と人とのつながりが、自治会加入の最大のメリットです。

- 災害を意識し生活の安全をめざして
- 環境整備で地域の美化をめざして
- 魅力ある地域をめざして
- 行政とのパイプ役を果たしています
- 地域の魅力を発信しています。



自治活動組織の良さは

人と人とのつながりは、そこに住む人たちが共有できる財産です。

- 困ったことで気軽に相談できるなど、お互いを助け合って暮らせる
- 防犯・防災や福祉などの活動があり、安心安全に暮らせる
- 地域や行政などの情報が入手できる
- 近隣で知りあいが増える
- 気軽に地域の催しに参加できる



自治活動組織への加入を呼びかけましょう

加入促進に一番効果があるのは地道な勧誘訪問です。

地域へ転入したときや、転入後、ひと段落したときに訪問しましょう。

1 訪問の準備

自治会へ加入してもらうためには、活動内容を知ってもらうことが大切です。

訪問する時に渡す資料を準備しましょう。



<資料の例>

- あいさつ文
- 加入案内チラシ、加入申込書
- 自治会の規約、役員名簿
- 総会資料、自治会広報紙

2 訪問する時期、人を決める

- 転入世帯への訪問は、居住開始後、間をおかずに行うと効果的です。
- 相手が対応しやすい時間帯を選びましょう
- 訪問者は、自治会長や班長など、各自治会の実情に応じて決めましょう。
- 慣れないうちは、複数人での訪問も検討してみましょう。あまり多いと逆効果にもなりますので注意しましょう。



3 訪問する

- 防犯、防災、親睦活動など、自治会の活動内容について説明しましょう。
- できるだけ会話をして、信頼関係をつくるように心がけましょう。
- 加入の意思表示があった場合は、その場で申込書に記入してもらいます。
- 自治会に対し否定的なことを言われた場合は、まず相手の言い分を聞き、理解できる部分については共感しましょう。打ち解けられたら地域の状況を説明し、今後の自治会活動に協力して欲しいことを伝えましょう。

相手の状況に合わせた効果的な勧誘をしましょう

□ 新しく転入してきた世帯への取組

- 地域の公共施設や医療機関、災害時の避難場所などの情報を得られる地図や案内を配付すると、自治会に関心を持ってもらうきっかけになります。
- 子どもがいる世帯には、お祭りや運動会などの行事や見守り活動など、子どもとのつながりを生かした案内をすると効果的です。

□ 以前から加入していない世帯への取組

- 住宅地図に未加入世帯を書き込むなど、未加入世帯の情報を整理してみましょう。
- 未加入世帯にも自治会行事への参加を呼びかけ、交流を図りましょう。
活動内容を知ってもらうことで、加入を呼びかけるきっかけになります。

- 未加入世帯であっても、日常生活で困ったことがあれば相談にのってあげましょう。地域の支え合いを大切にしている自治会の良さを知ってもらえる機会です。



脱退しない、させない活動組織に

生活環境が整い不自由なく暮らしている人にとって、自治会の必要性は理解されにくいのかもしれません。お互い様の精神が根底にあること、今は支える側であることを感じてもらうことが大切です。



- 自治会の活動を広報し、自治会活動がみんなの役に立っていること、困っている人たちを支えていることを広報紙などでPRする。
- 地域 みんなが気軽に交流できる機会を設け、自治会活動について知ってもらう。役員と会員との相互理解を深める。

役員や班長になるのが嫌で退会する人が多いので、対策が必要です。

- 高齢世帯等に対する役員の免除規定
- 班長の仕事は過度の負担なく行えるということを日頃から情報発信

これまでの活動を見直し、役員の負担を減らす工夫をしている自治会もあります。

- 重複する事業やニーズに合わない事業の見直し
- 自治会の仕事を細かく分けて、手伝ってくれる人を募集

活動に見合った会費を設定しているか確認してみましょう。何に使われているのか見えていないと負担に感じる人もいます。

- 会費が有効に使われていることを広報しましょう。
- 活動内容に比べて会費が高い場合は見直しましょう。



市役所も支援しています

飯田市では、自治活動組織への加入を促進しており、様々な支援を行っています。ぜひ、お近くの自治振興センターへご相談ください。



- ・自治活動組織への加入促進チラシを作成し、年1回、未加入世帯に配布し、加入を促進しています。
- ・転入、転居の際、市役所窓口で自治活動組織への加入を依頼し、本人の許可を得られた場合は、地域へ世帯情報を提供しています。
- ・地区コーディネーター事業として、まちづくり委員会から指定されたコーディネーターが、円滑に組織へ加入できるよう調整した場合は、実績に応じて定めた単価を助成します。
- ・地区で加入促進チラシを作成した場合は、一定の要件内で作成費用を助成します。
- ・広報紙などで自治活動組織の内容を紹介し、未加入者への情報提供を行いながら、加入促進用の資料として、まちづくり委員会の加入促進強化月間に活用できるようにしています。



よく こんなが質問をいただきます



自治会には必ず加入しないといけませんか？

加入は強制されるものではありませんが、地域の防災や防犯活動をはじめ、ごみ集積所やリサイクルステーションの管理といった、生活安全や生活環境など身近な課題について、助け合って取り組んでいます。

生活上起こるさまざまな課題に対して、お住まいの皆さんが協力し合って解決していく目的を持っていますので、加入することをお勧めします。

？



加入するとメリットはあるのでしょうか？

①：「いざ」という時に助け合える環境づくりが必要です。

このため、地域の「助け合いマップ」を作成するなどの備えを始めています。

各地で起こっている災害は、その後の検証でコミュニティの重要性を認識されていることから、加入をお勧めしています。

②：自治組織や公民館では、特色ある様々な行事やイベントを実施しています。

特に子育て世帯では、子どもの思い出づくりに役立ちます。





地域の課題は 行政が対応してくれないのですか？

生活スタイルの多様化の進展など様々な社会変化にともない、地域や家庭での課題が多くなっています。

行政の力だけでは時間的、量的にきめ細かに直接対応することが難しく地域の取組が欠かせません。

こうした状況から、身近な課題は自治組織が行政と協働して課題解決に向けて取り組む必要があります。



自治会費や役員の負担感から 加入をためらってしまうのですが…

地域の集会施設の維持管理費や、自治組織の運営のための会費が必要となる場合があります。

また高齢のため活動に参加できないといった質問があります。各自治組織では、コミュニティの維持や良好な生活環境の保持のための必要な経費を市の助成金と住民の皆さんからの会費で賄っています。

自治組織によって異なりますが、減免措置等を規約に規定している場合もありますので、お気軽にご相談ください。

